

交通量 API 利用規約

国土交通省 道路局企画課道路経済調査室

2025年5月12日施行

第1条（用語の定義）

1. この交通量 API 機能利用規約（以下「本規約」という。）において、次の用語は、次の意味を有します。

用語	定義
本機能	交通量 API 機能により提供される交通量データ取得用の API（Application Programming Interface）をいいます。
管理者	本機能を運営管理する、国土交通省のことをいいます。
アプリケーション等	本機能を利用して、利用者により開発されたアプリケーションやプログラム等をいいます。
運用者	国土交通省または本機能に関する業務を国土交通省から受託した者をいいます。
利用者	本規約に同意のうえ、本機能を利用する者（国、地方公共団体を含みます）をいいます。本機能を利用したアプリケーション等を利用する者は含まれません。
コンテンツ	本機能により提供される情報のことをいいます。

第2条（総則）

- 本規約は、本機能を利用者が利用するにあたっての諸条件を規定するものです。
- 利用者は、本機能を利用した場合、本規約に同意したものとみなします。

第3条（本機能の提供条件及び性質について）

- 本機能は、予告なくコンテンツの変更、提供の停止及び終了、性能の劣化、データの欠損・修正等が発生することがあります。
- 本機能により提供される交通量等のコンテンツは参考値であり、国土交通省による正式な交通量の調査結果として提供するものではありません。
- 運用者は、本機能の負荷状況に応じてアクセス制限をかけることがあります。
- 利用者は、本機能を無償で利用することができますが、通信費等の利用に際し必要な費用は利用者が負担するものとします。

第4条（コンテンツの利用）

コンテンツの利用条件は、本規約及び管理者との協定等に基づき本機能の媒介を行うウェブサイト等に関する規約に準じるものとします。

第5条（出典の記載）

1. 利用者は、本機能を利用したアプリケーション等によるサービスを提供する場合には、下記の通り、本機能を利用していることを示す出典等を、エンドユーザーが当該サービスを利用する度に確認できる位置に明示するものとします。

（出典記載例）

「このサービスは、交通量 API 機能を使用していますが、サービスの内容は国土交通省によって保証されたものではありません。」

2. 利用者は、本機能により取得した情報を用いたウェブサイトや資料等を公表する場合、下記の通り出典等を記載するものとします。

（出典記載例）

「交通量 API（国土交通省）機能による交通量(参考値)」

（加工して利用する場合の記載例）

「国土交通省 API 機能による交通量(参考値)を加工して作成」

3. 利用者は、本機能により取得した情報を用いたサービス、ウェブサイト又は資料等を公開する場合、あたかも国土交通省が作成したかのような状態で公表してはならないものとします。

第6条（禁止事項）

1. 利用者は、以下に掲げる行為を行ってはならないものとします。

- (1) 本機能の運用を妨害する行為
- (2) 短時間における大量のアクセスその他本機能の運用に支障を与える行為
- (3) 国民の安全に脅威を与える行為
- (4) 運用者又は第三者に不利益もしくは損害を与える行為、又はそのおそれのある行為
- (5) 法令または公序良俗に違反する行為

2. 運用者は、上記に該当する行為を行っている場合、該当する行為を行うおそれがあると判断した場合又は利用者が本規約に違反した場合、利用者に対して事前の通告なしに本機能の利用を制限、停止または禁止することができるものとします。

第7条（免責）

1. 運用者は、本機能から提供するコンテンツの完全性・正確性・一貫性・安全性等について利用者に対し一切の保証をしません。

2. 運用者は、本機能の利用に関して生じうるあらゆる損害等に関し、利用者に対する一切の責任を負いません。

第8条（利用者の義務責任）

1. 利用者は、本機能を利用したアプリケーション等の作成、運営並びにアプリケーション及びこれに関するサービス、コンテンツ等に関連して、第三者との間で生じた苦情、請求その他の紛争等については、自らの責任と負担において解決するものとし、運用者に一切迷惑をかけないものとします。

2. 利用者が本機能を利用してアプリケーション等を作成、運営等を実施しようとする場合、当該利用

者が一切の責任を負う旨を明記するものとします。

3. 利用者は、アプリケーション等によるサービスをエンドユーザーに提供する場合、個人情報の保護に関する法律、特定商取引に関する法律、不当景品類および不当表示防止法、消費者契約法その他の法令を遵守するものとします。

4. 利用者は、本機能の利用またはアプリケーション等によるサービスの提供に関し、不正アクセス等が行われた場合、不正アクセス等による情報の流出・漏洩・改竄等もしくは財産の処分が判明した場合、またはそれらのおそれを認識した場合、直ちに運用者に報告するものとします。

5. 利用者は、不正アクセス等の発生時に原因の調査等を行うことができるよう必要なアクセスログの記録および保存を行うものとします。

第9条（プライバシーポリシー）

1. 基本的考え方

運用者は、本機能において提供するサービスの円滑な運営に必要な範囲で、当サイトを利用される皆様の情報を下記の目的と範囲において収集する場合があります。収集した情報は利用目的の範囲内で適切に取扱います。

2. 収集する情報の範囲と目的

(1)	運用者はサービスの利便性向上等の参考とするため、本機能の提供を行うウェブサイト、管理者との協定等に基づき本機能の媒介を行うウェブサイト等においてインターネットドメイン名、IP アドレス、端末の OS 等の情報、その他当該ウェブサイト閲覧に関する情報を自動的に収集する場合があります。また、本機能による API 連携を行う場合、運用者は国籍、端末種別、OS とそのバージョン、ブラウザ名とそのバージョンについて自動的に収集する場合があります。
(2)	アンケートを実施する場合、基本情報として、性別、職業、年齢、住まい（都道府県名のみ）等の記入及び選択をお願いすることがあります。収集した情報はアンケート集計のみに利用します。
(3)	問合せ等においては、当サイトからの返信を行うためにメールアドレスの記入をお願いしております。なお、お問い合わせ内容に応じて、関係する各府省等に記入された情報を転送することがあります。

3. 利用及び提供の制限

運用者は、法令に基づく開示要請があった場合、不正アクセス、脅迫等の違法行為があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、収集した情報を利用目的以外に利用すること、又は第三者に提供することはありません。ただし、個人の情報が特定されないように統計的に集計処理された当サイトのアクセス情報等については公表することがあります。

4. 安全確保の措置

運用者は、収集した情報の漏洩、滅失又は毀損の防止、その他収集した情報の適切な管理のために「個人情報の保護に関する法律」等の関係法令等に沿って必要な措置を講じます。

5. 適用範囲

本プライバシーポリシーは、本機能の提供に関してのみ適用されます。

第10条（利用状況等の情報提供）

1. 運用者は、本機能の利用状況等について、利用者に任意でアンケートやその他の方法により聴取することがあります。
2. 管理者は、提供された利用状況等の情報について、個人の情報が特定されないように統計的に集計処理を実施したうえで公開することがあります。

第11条（本規約の変更）

管理者は、本規約を告知なく改定することがあります。本規約の改定は、改定後の本規約を媒介を行うウェブサイト等に掲示したときにその効力を生じ、利用者は改定後の本規約に従うものとします。

第12条（準拠法及び裁判管轄）

本規約の準拠法は日本法とし、本規約に関する紛争が生じたときは、訴訟物の価額に従い、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第13条（使用言語）

本規約に関する解釈及び問合せ等は、日本語で行うものとします。